

# 第18回 女と男の一行詩

## 入賞作品発表！

今回は、389名942作品のご応募をいただき、一般投票と選考委員による審査の結果、入賞6作品が決定しました。

「女と男の一行詩」とは、形式のない川柳のようなものです。「女性の活躍」「仕事と生活の調和」など、男女共同参画をテーマに作品を募集しました。

### 【最優秀賞】

「手伝うよ」なんていいパパ!?  
大間違い それって私の仕事と  
決めてない???

清重 惠美さん (一般)

◆受賞コメント◆  
平成時代、共働きが多くなり家事を手伝う男性が増えたと感じます。令和新時代は、更に進化して当然のようにごく自然に家事をしてくれると良いと思います。

### 【優秀賞】

手伝ってくれたはいけれど  
「やってやった」は腹が立つ

三上 朋楓さん (高校生)

母の毎日の楽しみは  
父が作る晩ご飯

相澤 月さん (高校生)

### 【入選】

結婚し 増える負担は妻ばかり  
宇野 照美さん (一般)

パパ定時 子どものお迎え  
ママ残業

佐々木 りささん (一般)

男が社長になると「社長」  
女が社長になると「女社長」

横山 舞香さん (高校生)

## 第18回「女と男の一行詩」表彰式



### …講評…

「女(ひと)と男(ひと)の一行詩」 選考委員長 岡庭 義行 (帯広大谷短期大学副学長)

令和になって初めての一行詩は、例年に比べ一般の方々の作品が多く選ばれる結果となりました。固定的性別役割分担意識を乗り越える取り組みは、これまでもなされてきましたが、選考過程を通してさらなる工夫や努力が必要であることを感じる事となりました。

### 「令和時代、『オイオチャ、オイメシ、オイオフロ』 絶滅危惧種に指定され」

Pick Up!

このたびの選考のなかで、次点となった作品を紹介いたします。入賞とはなりませんが、選考に関わった多くの人々から共感を得た作品でした。

## 推進員だより



今回は伊藤が  
担当です。

帯広市男女共同参画推進員は、市民協働のパートナーとして、帯広市と一緒に行動をします。このため、活動の様子や、メンバーについては活動の紹介をします。

男女共同参画推進員として「カスタネット」の企画編集を担当しています。様々なテーマのもと、多くの方々へ取材し、お話しを伺ってきました。

プライベートでは、推進員活動などやりたいことを続けていくためにも、やはり体力づくりが大切だと思い、5年程前から水泳を始めました。週に一度ですが、インストラクターに教わりながら、色々な泳ぎ方に挑戦しています。他にも百歳体操などに参加し日々充実しています。

昭和生まれの私は、頭では理解したつもりでも、時折、長年染み付いた性別役割分担意識がそのまま行動に出てしまいます。それでも、若い世代からの新しい風を受けて、少しずつ変化していく自分があることを実感しています。

〒080-8670 **ご意見・ご感想をお待ちしております!**

帯広市西5条南7丁目1 帯広市役所 男女共同参画推進課  
電話 0155-65-4134 FAX 0155-23-0171  
電子メール danjyo@city.obihiro.hokkaido.jp

令和2年2月 発行

●発行：帯広市

●企画編集：帯広市男女共同参画推進員

伊藤 容子・浦端 昭道・遠藤 妙子・川尻れえ子  
品田 裕子・田沼 誠子・沼田 秀実